



## 学生が「ホンモノの仕事」にチャレンジ 実践型インターンシップ報告会の開催

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、企業の課題解決を通じて学生の成長を図ろうという独自の「実践型インターンシップ」を行っており、10月28日、本学において報告会を開催します。

「実践型インターンシップ」は、本学が教育プログラムとして独自に開発・コーディネートしたもので、全国的にも例は少なく、先駆的な取り組みとして注目されています。

報告を行うのは夏期休暇中に1か月半の実践型インターンシップに参加した1～3年生20人で、学生達は8つの事業所に分かれリアルな課題解決、新しい事業や企画の立ち上げなど「ホンモノの仕事」に事業所のスタッフとして取り組みました。

このうち伊丹市立図書館では、本学卒業生で芥川賞作家の宮本輝氏が大阪・中之島を舞台に書いた作品「泥の川」にちなんだツアーを企画・運営し、約20名の一般参加者を中之島周辺へ案内して好評を博しました。

また和歌山県の白浜温泉の老舗旅館では、実際の接客を通じて得たおもてなしの心をベースに大学生向けの宿泊プランを企画し、好評だったことから商品化もされました。

報告会当日は、こうしたインターンシップ先での課題に対してどのように企画提案を行い実践し、そこからどのような成長を得たかについて学生たちがプレゼンテーションを行います。

「ホンモノの仕事」から得た学生たちの成長の姿をぜひ取材くださいますようお願いいたします。



実践型インターンシップの様子



実践型インターンシップの様子

### 【ポイント】

- 実践型インターンシップは全国的にも珍しい本学独自の先駆的なインターンシップ。
- 教育的効果を重視した1か月半という比較的長期のインターンシップ。
- 参加学生による事業所での企画提案と実践、およびそこから得た成長の軌跡のプレゼン。

### 【報告会概要】

日時：2017年10月28日(土) 13:20～16:30

場所：追手門学院大学 5号館 5606教室 (大阪府茨木市西安威 2-1-15)

出席者：参加学生 20人、受け入れ事業所の担当者等 総勢 30人

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立